

## 玉東中便り

# 【一歩前へ・一段高く】

第十三号 平成二十七年三月十七日

## 伝統を引き継ぎ、 更なる発展を



答辞を読む 深川 滉介 君

三月十六日玉東町町長前田移津行様をはじめ多数のご来賓の皆様、保護者の皆様にご臨席いただき、第五十回卒業証書授与式を開催しました。今年度より二部形式に変更し、第一部は今まで通りの厳粛な雰囲気の中で式を行いました。まず、卒業生一人一人に卒業証書を手渡し、来賓の皆様方から心温まるお祝いの言葉をいただきました。在校生代表の児玉亜美さんが「先輩方が取り組まれた新たな伝統を私たちが引き継ぎ、更に工夫を加えながら玉東中の向上のために努力していくことを約束します」と送辞を述べました。卒業生代表の深川滉介君が「玉東中学校で学んだことを糧とし、感謝の気持ちをお忘れず、私たちが玉東町を支えていきます」と堂々と答辞を述べました。

校長式辞では、卒業生のこの一年間の業績を振り返り、次のような言葉を贈りました。

『昨年十月ノーベル物理学賞を受賞した中村博士はその著書に「実現不可能と言われていた青色LEDを完成させることができたのは、「必ずできる」と信じて考え抜き、成功するまで実験をやり抜いたからだ」と書いています。私は皆さんに、博士の言葉の中にあつた、「考え抜くことのできる人」になつてほしいと思います。皆さんは四月から、それぞれ自分が選んだ道を歩み始めます。その過程で、色々な困難や試練に会おうでしょう。その時、しっかりと考え抜いて、判断し、行動してください。完璧な人などいません。だからこそ人には「考える力」が与えられているのです。●考える力があるから、アイデアが浮かぶのです。●考える力があるから、仲間と協力ができるのです。●考える力があるから、人に優しくできるのです。』

皆さんは、中学校三年間の学習で「考える力」の素地をしっかりと身につけました。「能力の差は小さく、努力の差は大きい」と言います。これから様々な分野の学習に幅広くより深く取り組み、努力を怠らず、「考える力」に磨きをかけ、社会のために自分の持っている力を十分に発揮できる人になつて欲しいと願っています。

第二部は生徒会の進行で、まず在校生からのメッセージと合唱、次に卒業生の三年間を振り返ったDVDが写され、卒業生のメッセージと合唱、最後は全員合唱で幕を閉じました。卒業生や在校生の涙に、私たちも目頭が



卒業生による合唱「道」

熱くなりました。卒業式後には、在校生のサプライズ企画で、グラウンドから三年教室に向けて感謝の気持ちを伝えました。突然のプレゼントに卒業生はとても驚いた様子でした。最後に全員で花道を作り、卒業生と保護者を見送りました。

## 全校生徒による クラスマッチを開催

高校入試が終った三月十二日、男子はサッカー、女子はバスケットボールで全学級対抗のクラスマッチを行いました。

体力的に勝っている三年生も受験勉強のため運動不足で、一・二年生にも勝機があるのではないかと思つていたので、結果は三年生の貫禄勝ちでした。暖かな春の日差しの中、珍プレー・好プレーが随所に見られ、学年の枠を超えた和気あいあいの雰囲気、いい思いでづくりができたと思います。クラスマッチ終了後には、全校生徒で記念撮影を行いました。

玉東中、全員集合！

